



Core of 4Four

第3回西日本ヨンフォアミーティング

発売から既に40年近くが経っているとは思えないほどの、
 愛車たちの良好なコンディション。
 そして参加者たちの弾ける笑顔。
 今後もずっと続いて発展していくことを予感させる、
 名車のミーティングだ。

pictures : Masashi Nishida



大好きなモデルが、 同じ場所に多数集まる喜び



会場は、淡路島国営明石海峡公園海側臨時駐車場。広い敷地に恵まれ、景色も良好。ツーリングを兼ねて来場した人も多い。



昨年に続き、キャンギャルは大塚亜美さんが務めてくれ、今回はMCも！来場となったその時点から、記念撮影が始まる。



様々なカスタムの仕様を見るのも楽しい。当時の仕様を保ち続けている車両や、最新パーツをつぎ込んだ車両もあり！

大 型絶版車のZ1/CB750 FOURと並ぶ人気、と言っても過言ではないホンダCB400 FOUR。美しいデザイン、日本車初のフルスケール4気筒400cc、生誕に関わる日本の免許制度と、早すぎる量産中止：様々な要素がこのモデルを名車たらしめている。

その絶大な人気ぶりを表しているともいえるのが、このミーティングだろう。今や全国各地で絶版車のミーティングが盛んに行われているが、この催しも実に盛大なのだ。今年で3回目と歴史としてはまだ浅いが、全国にまんべんなくコンフォアオーナー&ファンがいること、そして関西にもコンフォア専門店が多い事も手伝い、多数の来場者となっている。そのきっかけを、主催者であるBRC（徳島県）の代表・渡辺美視氏が答えてくれた。

「旧車の火を消さないように」と様々な方々が取り組んでいる中で、横浜のオートスキヤンさんが開催している元祖。コンフォアミーティングが11年の歴史を持っています。最初は関東で行われ、やがて中部・関西のオーナーさんにもっと多く来場して頂くようにと、静岡での開催に至っています。そういった経緯の中で、関西のコンフォア乗りのお客様から「ぜひ行ってみたいが、大阪からだ」と4時間半かかると、徳島からだ」と6時間半もかかるので、なかなか行けない。BRCさんが関西方面で



強力な専門ショップのバックアップ



スキャン 福田正美氏 オートスキャン 桑田昭弘氏 (共に神奈川県)



アゲイン (大阪府) 松永直人氏



BRC (徳島県) 渡辺美視氏



スナップオン西谷 (ツール) (徳島県) 西谷紀彦氏



カスタムパラノイア (大阪府) 坂本誠司氏



FOUR ONE (大阪府) 梅原 修氏

ならではの情報とアピール

各ブースには車両が並べられ、それぞれのショップの特色を出したカスタムメニューの紹介やパーツが……。ミーティング特別価格も設定されていた。また、出店ショップ代表による、挨拶、各得意分野のアピール、方向性や今後の展開など貴重な話を聞く機会となった。オーナーやファンにとっておおいに参考になったようだ。



開催してくれないか」という声を頂くようになりました。そして各ショップ様が協力して頂ける運びとなり、西日本ヨンフォアミーティングが実現となったんです！

開催場所は淡路島。四国と関西の中間地点でもあり、そのどちらから来ても都合が良いことも、好条件となっているようだ。会場は広く、関西の有力なヨンフォアショップはもちろん、オートスキャンもブースを出店。初開催の時から連続して来ている人も多く、その認知度はますます上がっているようだ。

今回、開催当日を迎えた時はドシャ降りの悪天候。が、開始の10時前にはピタリと止み、お昼頃には晴天となった。朝の時点での天候の影響により四輪での来場者が前回よりも増え、バイクでの来場者は前回よりも少ない結果となった。が、楽しさに変わりはない。

「来場した皆さんが笑顔だったり、目をキラキラさせながらいろいろなヨンフォアを見ていたり、お帰りになる時に「また来年も来ます」と言っている事が大きな励みになりますね。これからもさらに、ヨンフォアというバイクを通して旧車を持つこと、カスタムしていくことの楽しさ、そしてミーティングに参加する事の楽しさを、来場して直接肌で感じ取れる、内容の濃い催しにしていきたいと思っています。」(渡辺氏)。



ルーツエンターテイメントによる「田中太一エクストリームショー」も行われ、会場はおおいに沸いた。その妙技に度肝を抜かれたようす。



上2点：BRCのブースでは徳島県の特産品であるすだちも販売。キャンギャル兼MCの大塚さんからチビっ子達へ直接渡されるシーンも。家族連れが多いのもこのミーティングの特徴だ。下2点：ケータリングや食品販売も出店。出店店舗名：たこやきけんちゃん（大阪府）、ちょっちょっ（徳島県）、のものも（徳島県）。



恒例のじゃんけん大会も行われた。協賛ショップ提供の豪華景品を求め、参加者一匹大興奮。様々なアイテムからショートタイプのマフラー等大物まで多数用意されていた。帰路での天気も良くなり途中で会場を後にした人もいた関係で、例年以上にかんりの確率で「ゲット」となったようだ。



Core of 4Four



また来年も？
もちろんです！



BRC

ビーアールシー

★ショップ情報

〒770-0861 徳島県徳島市住吉5-8-31

☎: 088-622-0003

営業時間: 10時～19時

定休日: 第2・第4土曜日 / 日曜日

<http://www.brcinc.co.jp>

中型絶版車の一番人気とも言える「ヨンフォア」も、来年には誕生40周年を迎える。そんな年輪を重ねてきているヨンフォアの、コンディションをキープするには欠かせないショップであり、多くのリプロパーツ、そしてカスタムパーツを四国の地から発信するのがBRCだ。

pictures & words : Satoshi Nishida

ヨンフォア用取り扱いパーツは525点!

こうした中で、中古車のメンテナンス・修理に必要な純正パーツの重要性を認識し、供給が途絶えたパーツの提供を考え、実践してきた。さらに、長年に渡って扱ったノウハウで、純正パーツにウィークポイントがあれば改良・開発しているのも強み。こうしてリプロパーツは充実し、そしてカスタムパーツのラインナップも増やしていった。今や、ノーマル派もカスタム派も、BRCのパーツは欠かせないものとなっている。

動めていた頃はヨンフォアの中古車はタマ数が少なく稀少な存在だったが、'91年に故郷・徳島に戻りBRCを開業した頃は、逆車のヨンフォアがアメリカから何台でも好きなだけ入手出来る環境だったそうだ。そして、今までに250台以上のヨンフォアを販売してきた。

代 表の渡辺さんは、18歳の時に18万円で買ったCB750K1に乗っていて、毎週のようにこのCBで、ヨンフォア乗りの友達と上野のバイク街に遊びに行っていた。だから「ナナハンもいけど、ヨンフォアもいいな」という感覚が芽生えていたと思います。その後、22歳の時にはバイクショップに勤め、中古車の買取で1カ月に130台ものバイクが毎月入ってくるため、オンロードからオフロード、そして外車まで乗っていないバイクを数えた方が早いくらいあらゆるバイクに乗ったそう。70年代終盤から10年間、バイクブーム全盛時を実体験した。



渡辺社長は「カフェレーサー」が好き。下のビモータ仕様のヨンフォア以外にも、モリワキカラーのヨンフォア、BEET製キャストにJMC製バックステップ、LEAD製の集合マフラーなどを装着したZ400FXなど。カフェレーサー仕様が多く、センスの良いカスタムの参考となる車両が並び。



ヨンフォア用の取り扱いパーツは、現在 525 点！ そのうちオリジナルパーツが約 300 点を占める。もちろん店内には、ヨンフォア以外に CBX400F、CB750K0-4、CB750F、GT380、GS400、Z400FX、ゼファー、KH250/400、Z1/2 などのパーツもあるので、取り扱いパーツ総計は……すごく沢山！



BRC のデモ車であるビモータ仕様。コンセプトは、「どこから見ててもカッコいいと言われるヨンフォアのカフェレーサー・ビモーター仕様」。BRC では当時風カスタムに力を入れており、当時のイメージを壊さないでずっと長く付き合える飽きのこないカスタムを目指しているそう。



店内に並べられた車両(カスタムされたもの)やディスプレイされているパーツには「当時物」と言われるものも多々ある。BRC では当時のセブンスターホールや JMC 製バックステップなどを複製リリースもしている。

メーター類はホワイトメーターに加工し、BRC メーターアップブラケットに変更。ハンドルはマーベリック製セバハンにマグラ製パワーレバー、前後ホイール、そして外鏡、スイングアームもビモータ製。エンジンはヨシムラ ST-1 カムにも 54.5 ピストンキットで 466cc。BRC 製強化クラッチを組む。CR キャブに BRC アルミファンネルを組み合わせ、マフラーは BRC 手曲げ管(排気量アップによりインテークサイレンサーをラジタイプに変更)、R サスは KONI の鉄ホディ初期型。フレームは当時のイメージを壊さないようにあえて補強箇所はだが、他はほぼ全身に手が加えられている。



絶版車部品専門店

有限会社ビーアールシー
営業時間 AM10:00~PM7:00
定休日 土曜日/日曜日

取材日には「有限会社ビーアールシー」だったが、この10月10日より新社名の「株式会社BRC」に変更となった。渡辺義規(ワタナベ・ヨシミ)社長は、94ページで紹介している西日本ヨシムラミーティングも主催している。実に「ヨシムラア・ラブ」な人なのだ。

